



対流

Heart to Heart
2023.7

2023年7月27日発行

特定非営利活動法人
有機農業認証協会
〒564-0063
大阪府吹田市江坂町
1丁目23-19
TEL*06-6330-0823
FAX*06-6330-0735
MAIL:yuukinin@apricot.ocn.ne.jp
HP: <http://yuukinin.org/>



つくる人、はこぶ人、たべる人。 人と自然のあらたなかかわりは、
農山漁村に住む人、都市に住む人。 顔の見える交流(Face to Face)から
自分の居場所や立場を越えて人と人。 心が響きあう対流(Heart to Heart)へ。

■CONTENTS

1. 巻頭言 2. 事業・活動報告 3. お知らせ

1. 巻頭言 「オーガニックの伸び代」



理事長 中塚華奈

先日、焼肉ビジネスフェアという展示会に行ってきました。畜産業者の出店が多かったのですが、「焼肉にあうたれ」や「焼肉専用ごはん」などの農産物関連業者の出店も多々あり、いろいろと試食、情報交換してまいりました。焼肉のたれを製造されているハーブ農場は、国内むけの販売のほか、GGAPを取得して海外への輸出も積極的に行っておられました。

話をするなかで、有機JASに興味をもってくださったかたとは名刺交換してきたのですが、なかには「有機農業」に真っ向から否定的、かつ、どこからインプットされたのか、「あんなもんほとんど嘘ですわ。オーガニックいうてもなんの根拠もないんですよ、騙されたらあきませんよ」と、かなり間違った情報を感情的に教えてくださる出展者のかたがおられました。あまりに自信ありげに豪語されていたこと、そこで意見の相違を議論する必要もないと思い、有機JAS関係者だとは言い出せず、「そんなことはないと思うんですけどねー」と小さく会釈してその場を去りました。認識まちがっていますよ〜とお伝えすべきだったのか・・・ちょっと後ろ髪ひかれつつ・・・。



「みどりの食料システム戦略」での昨今の有機推し、SDGsとの親和性があるといえども、まだまだ有機農業や有機農産物、オーガニックに関する情報発信や啓発活動が足りていないようです。令和5年3月31日時点の有機認証事業者数は生産行程管理者(生産)が3,936経営体数で、2020年の農林業センサスで発表された農業経営体数107万6千経営体のたった0.37%。有機JASほ場面積は、ここ5年ほど10,800ha(H30)→11,002ha(H31)→12,027ha(R2)→14,137ha(R3)→15,276ha(R4)と右肩上がりとはいえ、こちら国内の耕地面積4,349,000ha(R3農林水産省統計部の公表値)のたった0.35%。とにかく生産者数もほ場面積も認識・理解についても伸び代が大きいことに違いはありません。

前号の巻頭言でSNSでのオーガニック魅力発信を宣言しましたが、これからの消費を担うZ世代をはじめ、全世代にむけてのオーガニックに関する普及・啓発、情報発信に拍車をかける必要性を確信いたしました。新しいSNS

「Threads(スレズ)」も先日リリースされたばかり。早速ダウンロードしました。歪曲した情報が少しでも減るように、オーガニックの魅力、基準認証に携わる皆さんの誠実などを積極的に配信してまいります。



2.事業・活動報告

★事務局認証業務①

*判定委員会

(5/17、6/12、7/10)

新規調査7件（有機農産物の生産行程管理者1件、有機加工食品の生産行程管理者2件、小分け業者2件、輸入業者1件、外国格付表示業者2件、有機料理1件）、年次調査48件（有機農産物の生産行程管理者20件、有機加工食品の生産行程管理者17件、小分け業者7件、輸入業者4件）の他に追加ほ場が1件、臨時調査2件でした。

★事務局認証業務②

*理事会(5/29)

2023年度第2回の理事会がオンラインにて開催されました。事務局より定期的な会計・業務報告がありました。

■有機JAS講習会

●個別講習

5/18(農産&小分け：2名)

●個別講習会(オンライン)

5/16(加工&小分け業者：3名)

7/6(有機料理：5名)

●出張講習会

6/30と7/7（農産業者：19名）

●合同講習会（オンライン）

6/15（農産業者：14名、加工業者：7名、小分け業者：6名、輸入業者：2名、外国格付表示業者1名）



🔗 有機料理提供JAS

有限会社 清元楼

JAS

有機料理を提供する飲食店等の運営方法（オーガニックレストランJAS）の2店舗目として滋賀県大津市の「近江懐石 清元」が認証を取得されました。

有機野菜料理のほか、オーガニックワインも取りそろえられておられます。

[滋賀 大津で日本料理・懐石料理・和食のお店
| 近江懐石『清元\(きよもと\)』
\(kiyomotorou.jp\)](http://kiyomotorou.jp)

新規事業者紹介



* 栄和産業株式会社

イージーファーム*

大阪府南河内郡河南町で有機農産物を生産している法人です。

生産品目は各種野菜を多品目栽培されています。

この度有機農産物の生産行程管理者として認証取得されました。

[イージーファーム | 栄和産業株式会社 - "大阪南河内にて農薬や化学肥料を使わない農業を行っています。健康につながる栄養価の高い野菜作りで安全・安心・環境にやさしいeco農法で皆さまの健康に役立つ野菜を提供します。\(eg-farm.jp\)](http://eg-farm.jp)

* 株式会社 ビートラスト*

大阪府摂津市に本社を置く事業者で、この度有機農産物の小分け業者の認証を取得されました。

[物流センターサポート | 株式会社ビートラスト
\(be-trust.biz\)](http://be-trust.biz)

* 桜井食品株式会社*

岐阜県美濃加茂市に本社を置く事業者で、1970年代初頭から無添加食品の製造を開始したこの世界のパイオニア的存在で、現在は乾麺、各種粉類、海外のオーガニック製品などを取り扱っておられます。

この度、別の認証機関より、当協会に移ってこられ、有機加工食品の生産行程管理者、小分け業者、輸入業者、外国格付表示業者の認証を取得されました。

ました。

[桜井食品株式会社 | 自然食品・オーガニック食品メーカー \(sakuraifoods.com\)](http://sakuraifoods.com)

認証全事業者数

* 農産の認証事業者	78件
* 加工の認証事業者	48件
* 小分けの認証事業者	31件
* 輸入の認証事業者	17件
* 外国格付表示業者	3件
* 有機料理提供JAS事業者	2件

3.有機4規格見直しに係る第2回検討会



日本農林規格は、制定または改正の日から5年以内に見直しを行うことになっています。そして現在、有機4規格（農産物、畜産物、加工食品、飼料）見直しの原案検討会議が始まっており、認証機関は傍聴ができるとのことで、3月の第1回に続き、7月3日に開催された第2回会議にオンラインで参加・傍聴しました。

第1回の際は検討委員及び改正に向けた意見の紹介で終わりましたが、今回は要望に対する事務局案についての説明と質疑応答がありました。

当協会からは、

- * 新たに有機の規格ができた「有機藻類」について、加工食品の原材料として使用できるようにすること
- * 有機加工食品の生産行程管理者が有機農産物の小分けができるようにすること
- * 有機農産物の調整資材として認められているエチレンを、有機加工食品の別表に追加すること



そしてこの日示されたFAMICの原案では、有機藻類は有機加工食品の原材料として規格を改訂する、エチレンについても使用可能とする、というものでしたが、加工業者が農産物の小分けができるようにとの要望は現行通り、つまり認められないというものでした。

原案作成は予定ではあと3回開催され、来年3月の第5回目で原案が確定するそうなので、今後の議論に注目したいと思います。（岡田）

4.「アイガモロボットを見てきました」



去る6月6日、奈良県宇陀市で有機JAS認証を目指している法人の稲作農家が、農機具メーカーのイセキが開発した「[アイガモロボ | 除草機とはひと味違う水田雑草対策 | Amoni | Amoni \(iseki.co.jp\)](http://Amoni.iseki.co.jp)」を試験導入したので「見に来ませんか？」とお誘いを受け、行ってきました。

このアイガモロボは「除草」ではなく、水田の泥をかき混ぜて水を濁らせ、雑草を発芽しにくくする、「抑草」を目的としています。動力は太陽光パネルを搭載しており、曇り程度でも充電ができるそうです。

水田に入れる前にあらかじめ田んぼの形をインプット、GPS機能で動き回ります。ちょうどお掃除ロボットのようなイメージです。水深は浅くてもダメ、深くてもダメ、水底に凸凹があるとスタックしてしまうので、田植え前にいかに均平にするかが重要だとのこと。

参考までに価格は約55万円で、メーカーのお話では7年は使用出来るそうです。

今回見学に行かせていただいた事業者さんは、国の補助金が半額出たとのことでした。

この宇陀市はオーガニックビレッジ宣言をした街としても知られており、当協会でも認証を取得された事業者も数件あります。今後このアイガモロボで収量がどうなるか、楽しみです。（岡田）



【ご案内】～有機加工食品JAS講習会～

- ◇開催日：令和5年11月1日(水)
令和6年2月16日(金)
- ◇場所： ジャパンライムセミナールーム(Web参加も可能)
- ◇対象者：有機加工食品の生産行程管理者、小分け業者、輸入業者、外国格付表示業者
- ◇受講料：会場参加 JAS協会会員 12,000円・賛助会員 14,000円・一般 18,000円
Web参加 JAS協会会員 17,000円・賛助会員 19,000円・一般 23,000円
- ◇申し込み方法等は下記をご覧ください



[有機加工食品JAS講習会2023 | 一般社団法人 日本農林規格協会 \(JAS協会\) \(jasnet.or.jp\)](http://jasnet.or.jp)

「格付実績報告」の提出について

2022年の格付実績報告について、ご協力ありがとうございます。まだ提出されていない事業者の方は、提出期限が過ぎておりますので、すみやかに提出いただけますようお願いいたします。

事務局よりお知らせ

事務局は8月11日(金)～16日(水)まで、お休みとなります。ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

